

# もみじ

77



発行：放送大学福島学習センター  
機関誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<http://www.ouj.ac.jp>

### —もみじの由来—

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要!

## お知らせ



### ◆学習センター閉所日について

福島学習センターのみ臨時閉所日

4月11日(火)・4月18日(火)

5月16日(火)・5月23日(火)

6月6日(火)・6月20日(火)・6月27日(火)



福島学習センター及びいわきサテライトスペースの閉所日

毎週月曜日・4月29日(土)～5月5日(金)

※7月以降の臨時閉所日については、次号のもみじでお知らせします。

### ◆いわきサテライトスペース利用時間の変更について

<平成28年度>

曜日	いわきサテライトスペースの開所時間	図書室・視聴学習室の利用時間
火～金	10:00～18:00	10:00～18:00
土・日	9:30～17:30	9:30～17:30



<平成29年度>

曜日	いわきサテライトスペースの開所時間	図書室・視聴学習室の利用時間
火～日	9:30～18:00	9:45～18:00

※単位認定試験期間の開所時間及び利用時間の変更はありません。

あわせて利用の手引をご確認ください。



## 出版社PR雑誌の楽しみ その2 - post-truthをのりこえる -

所長 森田道雄

センターにおいででの学生の方から複数、前回の文を「読んだよ」と声をかけられました。今回書く順番が回ってきましたが、はてなにを書くのがよいか悩みます。他のセンターの所長や客員教員の方のをよく読ませて貰いますが、これもまた面白くいろいろ学ぶところが多いと思っていますので、いっそう、プレッシャーです(重厚でアカデミックなエッセーに接すると思わず気持ちが引き締まります)。にもかかわらず、今回、続編という安易な発想で書くことにしました。というのは、あれを書いてから、PR雑誌に「はまった」というか、まだ知らない雑誌もあったし、未知の書き手の文章に魅力を感じずることもあり、雑誌に載るだけではもったいない内容が少ないのです。結構、これはこれで奥が深いことを思い知ったからです。

ところで、この雑誌の入手にはけっこう苦労があり、書店のカウンターにいつもあるとは限らず、連載ものが欠けることはしばしばです。1年単位の購読料も千円くらいが多いですが、三千円を超えるのもあってなかなか「雑学」意識では手が出ません。欠号にストレスを感じるのは、もはやどうでもいい雑学ではなくなって、「もっと知りたい」という知識欲が高まるからでしょう。これは、われながら意外でした。連載ものが一冊の本にまとめられるのを知ると、買って読みたくなりますが、それは単行本にするだけの価値があるということにほかなりません。しかし、どんな本になるのか複雑な思いがよぎります。たとえば歴史の裏話で、平城京で出土の木簡に書かれた日常の雑事の記事(『究』より)は本になるのかな?とか、最近の発見された新井白石『西洋紀聞』の尋問相手のイタリア人宣教師のDNA分析と遺骨による頭部の復元写真(『図書』より)は、きっと本になるのではとか、想像がふくらみます(因みに復元写真は新聞で報道済み)。「雑学」というのは読み手の軽い気持ちでいっているだけで、学問的探求の努力に軽さなどありません。あくなき真実探求にこそ価値があるのであって、そこで究明されたことはどれも至高なものです。それに反して、ネット上の「つぶやき」とかいうある種の発言のこのうえない軽さには暗澹たる思いがします。

さて、ここからが本題ですが、いま世間には、ほんとかどうかなどどうでもいい、という風潮が広がってきました。それを反知性主義という人もいるし、post-truthという、わざと「嘘」を感情的に訴える手法を指す言葉があり、オックスフォード辞典が2016年「今年の単語」に選んだというのです。脱真実と訳すらしい。「世論形成において、客観的事実が、感情や個人的信念に訴えるものより影響力を持たない状況」と定義されています。

これを知ってわたしは、放送大学での学びはそれと対極にあるものでなければならないと考えます。つまり、真実、事実に立脚してこそ学びが生きる。漫然と学ぶだけでは、間違っただけで情報は流され、とんでもない方向に社会がいつてしまうのではないのか、そんな警戒心こそ、これからの学びに必要なのではないのでしょうか。

## 退任のあいさつ



東日本国際大学経済経営学部 教授 浅井 義彦

先ず、出会えた方々の「学ぶ」姿勢に感銘を受け、支えられたことに感謝いたします。生涯の学びの友を得たことが、何よりの成果でした。

退任にあたり、ゼミの主旨でもある「科学的世界観」について再確認しておきます。

私達は、雨が降り川となり海に注ぐことや、熱の砂漠や極寒の氷原が、全て地球の表面にあることを知っています。四季の廻りが自転軸の傾斜によるものであり、太陽との引力関係で、私達の惑星が周回運動をしていることを知っています。これらの事柄は、人類が、先人達の研究成果を「教育」と呼ばれる仕組みによって受け継ぎ「科学的世界観」として築き上げてきたものです。私達は、世界の姿や性質を解明しながら、その成果である科学技術によって活動領域を拡大し続け、宇宙空間に進出する時代に生きています。

この科学的な世界には、特別な性質があります。それは、昨日と今日が連続しているということ、宇宙の始まりから現在まで、時間的にも空間的にも連続した「ひとつの世界」として存在している、ということです。この性質は、化石から太古の生態系を推測することや、法廷で様々な証拠が犯行現場を再現することなど、この世界での出来事を確認するときには、必ず、前提とされる性質なのです。世界が裂け目なく連続するという性質こそ、科学や論理として、真偽判定の基準とされているものです。

今後も、この科学的な状況認識と、友への優しい心を大切にお過ごし下さい。

最後に、お世話になった先生方、事務局の方々に感謝いたします。そして、客員教員に就任したばかりで、迷走する姿を暖かく力強く見守って下さった、前所長・北村寧先生のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

## 新任のあいさつ



### 共に学び話し合い知識を深めましょう

東日本国際大学経済経営学部 教授 山田 紀浩

平成29年4月から放送大学福島学習センターいわきサテライトスペースで客員教員を担当させていただくことになった山田と申します。

本務校の東日本国際大学では、市民社会論、アジア事情、韓国語、ゼミや留学生に対する日本語の授業を担当しています。韓国の市民社会の動向を注視することが専門ですが、元々、社会形成における市民の役割について興味が深く、東日本大震災後には幾つかの地域復興プロジェクトにも参加させていただきました。その際、特に風評問題についてはその発生と拡大のメカニズムと克服について深く考えさせられました。また留学生たちに接していると中国や韓国は日本国内以上に風評が深刻化しているのに対し、ミャンマーやネパールの学生たちは気にすることなく来学していました。これには国境とは別のマスメディアという大きな壁を感じずにはおられず、この克服への思考錯誤の取り組みにおいては、細く小さなことですが、社会形成において大切な人間の役割を再発見したようでしたが、そうした話を皆さんと深めていきたいと思えます。

いわきサテライトスペースでは、これまで面接授業を何度かさせていただきましたが、学生の皆さんの熱心さに逆に力を頂きました。これからも夫々の関心分野の話が自由に楽しく議論できる場になればと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

# 平成29年度 第1学期 ゼミのお知らせ



テーマ **環境、健康に関する  
話題について考える**

**浅田 隆志** 先生

### 講義概要

資源やごみの環境問題や健康によいとされる食品等の我々の身近な環境、健康に関する話題について、テレビ、新聞、インターネットでは様々な情報が氾濫しています。正しい知識をもっていないと、誤った情報に惑わされてしまうこともあります。

このゼミでは、環境問題や食と健康等に関する話題を提供し、誤った情報に惑わされないための基礎知識を解説します。一緒に考え議論しましょう。今期のゼミでも炭に関する研究成果の紹介も計画しています。

会場

**福島学習センター**

- 1 4月15日(土) 10:00~11:30 **ベンゼンの環境基準**  
- 豊洲市場問題 -
- 2 4月22日(土) 10:00~11:30 **資源問題**  
- 石油はいつなくなるか? -
- 3 5月13日(土) 10:00~11:30 **ごみ問題**
- 4 5月27日(土) 10:00~11:30 **食中毒**  
- 細菌とウイルス -
- 5 6月10日(土) 10:00~11:30 **ヒアルロン酸**
- 6 6月17日(土) 10:00~11:30 **ウコン**
- 7 7月1日(土) 10:00~11:30 **炭でできること**  
- 浅田の研究から - その2



テーマ **日本とアジアの関係再考①:  
『戦後』とは何だったのか?**

**吉高神明** 先生

### 講義概要

今学期のゼミでは「昭和」という時代を振り返りつつ、アジアとの関係に焦点を当てながら、第二次世界大戦後の日本の歩みを振り返ります。憲法改正、靖国神社参拝、従軍慰安婦問題、北方領土・尖閣諸島・竹島などの近隣諸国との領土問題、安保法制、沖縄基地問題など、今日の日本が直面する重要問題の歴史的背景について改めて考え直してみたいと思います。

会場

**福島学習センター**

- 1 4月16日(日) 10:00~11:30 **第二次世界大戦と日本:重要論点の整理①**
- 2 4月16日(日) 11:40~13:10 **第二次世界大戦と日本:重要論点の整理②**
- 3 5月14日(日) 10:00~11:30 **極東国際軍事裁判(東京裁判)と靖国神社**
- 4 5月14日(日) 11:40~13:10 **日本国憲法と自衛隊**
- 5 6月11日(日) 10:00~11:30 **サンフランシスコ講和会議と日米安保**
- 6 6月11日(日) 11:40~13:10 **朝鮮戦争と日本**
- 7 7月8日(土) 10:00~11:30 **昭和前期のライフスタイル・流行・ファッション**

※同日開催、時間の変則にお気をつけください。

## —ゼミの受講について—

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。

ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんと対話をしながら授業を行っていきます。

1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりません。積極的な参加をお待ちしております。

※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、館内に掲示しお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。



### テーマ 認知研究の広がりと展望

木暮 照正 先生

会場

福島学習センター

#### 講義概要

第1学期のゼミでは、心理学の主要な研究領域の一つである「認知研究」に着目します。認知研究では生体の内的処理過程のモデル化を目指していますが、そのために生物学的なメカニズムと主観的な心理現象の両視点を重視しています。この講義の前半(4回目まで)ではこの生物学的・現象学的研究の枠組みを概説し、後半(5回目以降)ではそれを踏まえつつ、認知研究の展開(個人差・個性へのアプローチを含め、今後の展望について)を取り上げる予定です。

- 1 4月9日(日) 10:00~11:30 認知の生物学(1):進化心理学と行動遺伝学
- 2 4月9日(日) 11:40~13:10 認知の生物学(2):認知神経科学
- 3 5月20日(土) 10:00~11:30 認知の現象学(1):情動・感情と認知
- 4 5月20日(土) 11:40~13:10 認知の現象学(2):意識と認知
- 5 6月3日(土) 10:00~11:30 認知の個人差・個性(1):個人差・個性と認知
- 6 6月3日(土) 11:40~13:10 認知の個人差・個性(2):文化と認知
- 7 7月2日(日) 10:00~11:30 認知研究の始まりと展開、今後の展望

※同日開催、時間の変則にお気をつけください。



### テーマ 遠野物語の世界

野澤 謙治 先生

会場

福島学習センター

#### 講義概要

遠野物語を読みながら物語に込められた神話的世界とその残存、東北の文化の特質、そして物語の現代性を考えます。また9月に予定されている遠野への研修旅行の準備としても位置づけます。テキストとして「新版遠野物語」(角川ソフィア文庫)を使用します。テキストは各自購入して下さい。

- 1 4月8日(土) 13:00~14:30 遠野物語の誕生の背景を明らかにするとともに、遠野盆地誕生の物語から遠野の原初性を考えます。
- 2 4月15日(土) 13:00~14:30 山人(山男、山女)、山の神の物語から遠野を取り囲む異界としての山と里の交流を考えます。
- 3 5月13日(土) 13:00~14:30 狼の物語から動物を介した人と自然との両義的關係(対立しながらも共生する)を考えます。
- 4 5月20日(土) 14:00~15:30 遠野というと河童が必ず連想されますが、河童の物語の背景には家や社会の問題がかかっていました。
- 5 6月17日(土) 13:00~14:30 ザシキワラシは家の幸不幸を左右する家の精霊ですが、家の精霊の起源を考えます。
- 6 6月24日(土) 13:00~14:30 オシラサマは養蚕起源にかかわると同時に馬の信仰、そして北東アジアのシャーマニズムにもかかっていました。
- 7 7月1日(土) 13:00~14:30 デンデラノの物語から古い、そして死生観、他界観を考えます。

※4は時間が変則になっています。

# 平成29年度 第1学期 ゼミのお知らせ



テーマ

## ABC World Newsで 学ぶメディアの英語 I

松浦 浩子 先生

### 講義概要

昨年度のCNN Student Newsに引き続き、テレビで実際に流された映像を用いてメディアの英語を学びます。本年度はアメリカ3大放送局の一つであるABCの看板ニュース番組World News Tonightを視聴しながら、教科書にある語彙や内容理解等の練習問題を解いていきます。受講生はご自身で教科書を手ください(『ABC World News 19』、金星堂、電話:03-3263-3828)。

会場

福島学習センター

- 1 4月8日(土) 10:00~11:30 Treasury Secretary Announces Historic Changes for \$20 Bill  
ドル紙幣、久々のリニューアル
- 2 4月23日(日) 15:00~16:30 Daylight Saving Time  
サマータイムは時間を進める? 遅らせる?
- 3 5月7日(日) 15:00~16:30 Cuba's Gold Rush  
ハバナに押し寄せるアメリカ人観光客
- 4 5月21日(日) 15:00~16:30 Made in America: Super Bowl 50  
スーパーボウルで活躍するメイド・イン・アメリカ製品
- 5 6月4日(日) 15:00~16:30 Firestorm: New CDC Recommendations for Women and Alcohol Provoke Controversy  
アルコール摂取による女性の健康被害
- 6 6月25日(日) 15:00~16:30 Deadly Tornado Outbreak  
アメリカ東部を襲う巨大竜巻
- 7 7月9日(日) 15:00~16:30 Zika Emergency: Community Backlash to Zika-Fighting Plan  
ジカ熱対策実験に反対する地元住民



テーマ

## 関係冷却期こそ、 韓国を知ろう

山田 紀浩 先生

### 講義概要

日韓関係は、数年毎に悪化と好転の歴史を繰り返しています。悪化すると韓国では反日、日本では嫌韓という用語が台頭し、特に政治面ではその関係が希薄になります。しかしグローバル時代における経済や文化、社会的な繋がりは、もはや切っても切り離せない状況にあります。私たちは世相の状況によって判断する韓国ではなく、客観的にどのような国なのか、一度整理し冷静に分析できるようにしておく必要があるのではないのでしょうか。このゼミでは、時に韓国の食事や旅行の話を変えながら、共に議論したいと思います。

会場

いわきサテライトスペース

- 1 4月8日(土) 10:00~11:30 韓国の概要
- 2 4月15日(土) 10:00~11:30 韓国の歴史
- 3 5月13日(土) 10:00~11:30 朝鮮半島に2つの国がある理由
- 4 5月27日(土) 10:00~11:30 60年代以降の韓国の経済政策
- 5 6月3日(土) 10:00~11:30 60年代以降の北朝鮮の経済政策
- 6 6月17日(土) 10:00~11:30 現代の韓国事情
- 7 7月1日(土) 10:00~11:30 韓国人の考え方について

# 学生サークル紹介

## 福島登山サークル



登山を通じ、体力、気力を養うとともに仲間意識の高揚と親睦を図ります。また、気候や環境を肌に触れ、動植物の観察などを通じ自然の理解を深めます。山行は、県内各地の山を中心に、1～2回は宿泊し百名山にも登ります。昨年は、4月高寺山・5月博士山・6月会津朝日岳・7月磐梯山・8月岩木山・八甲田山・八幡平・9月箕輪山及び大阪山の会交流会(安達太良塩沢コース)・10月厩岳山・11月権太倉山・12月関山などに登りました。自主開催として5月連休は毎年燧ヶ岳に登っています。名湯を探し入浴するのも楽しみの一つです。個々人の希望と体力にあった山を選んで登山を楽しめればと思っています。



関山頂上にて

問い合わせ先(幹事) 齋藤 芳久 024-546-8676 080-1809-0046 e-mail:saito-y@chive.ocn.ne.jp

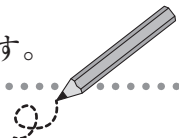
## 会津学知会



会津学知会は、より充実した生涯学習活動の実践を目指し、会津地域で学ぶ放送大学の学生と卒業生との交流や、親睦を図るため、平成18年5月に発足しました。主な活動は、月1回の定例会、会員による話題提供(会員が講師となり、発表するミニ講演)、年2回の公開講演会(福島学習センター主催)への参加、年1回の歴史散策(野外活動)などです。

会津学知会では、趣旨に賛同し、一緒に考え行動するメンバーを随時募集しています。

問い合わせ先(会長) 佐藤 利一 0242-22-4556



## Book Club



「日計足らず 歳計餘りあり」  
(正篤)

原書(英語)を味読する本会は、各学期に月2回程度土曜日から日曜日に学習センター内で実施している読書会です。29年度は世界文学の宝庫と評価の高いE・ブロンテ著『Wuthering Heights』(嵐が丘)を輪読します。

主人公のキリスト教的な愛の盾の反面を現わし、その頑なに地に執して浄化しない特徴が発表当時のキリスト教社会に受け入れられないが、20世紀の読者に非常に愛された。

嵐が丘の荒々しい自然と溶け込み、展開される物語は人間の間の愛情についてあらためて問い直すことのできる傑作です。



news searchina.ne.jp

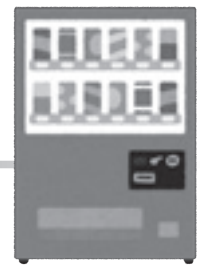
問い合わせ先(会長) 清田 直樹 024-952-2169  
(事務局) 根本 芳則 080-1835-3863 石田 義明 024-553-6200

# 設立20周年のお知らせ

おかげさまで当センターは  
設立20周年を迎えます。  
20周年を期に下記の取組を行います。

## ▶ 施設関係

- ・講義室の机を入れ替え、2学期から、心理系の人気のある面接授業の定員を増やします。
- ・学生控室の老朽化した給茶機は撤去、自販機も新しい機種に入れ替えます。又、レンジ台を新たに導入し、スペースの有効利用を図ります。



## ▶ 行事関係

### <20周年特別講演会>

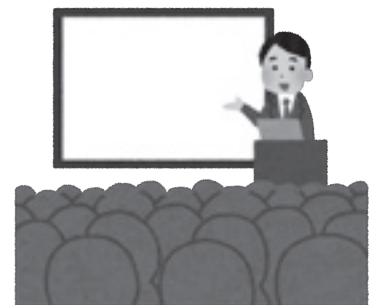
8月27日(日)予定

日本遺産登録決定記念

安積疎水研究者 矢部 洋三先生による特別講演会実施

2018年2月4日(日)予定

福島市における吉高神明先生による公開講演会実施



### <20周年特別研修旅行>

9月3日(日)～9月4日(月)

野澤謙治先生随行、ゼミと連動した、遠野民俗学1泊2日研修旅行実施

### <まったりたまり場相談会>

予約は必要ありません。気が向いたらぶらっと立ち寄ってください。

客員教員、当センター職員、先輩学生(4～5名)による萬相談会

4月28日(金) 18:30～20:30 主に新入生対象 野澤謙治先生担当

5月19日(金) 13:30～15:30 通信指導 吉高神明先生担当

7月6日(木) 13:30～15:30 単位認定試験 松浦浩子先生担当

11月10日(金) 13:30～15:30 通信指導 浅田隆志先生担当

2018年1月5日(金) 13:30～15:30 単位認定試験 木暮照正先生担当

### <学びの祭典>

9月9日(土) 学生による講演会や論文発表

学生団体の希望があればバザーなど





# 学びカフェ 2017年度前期 文章作成講座

4月19日 ガイダンス 「書く」の前提、本の読みかた、ノートの取りかた

5月10日 第1回 論説文の技法…作文との違い(初級レベルです)

30分程度で、500字前後の文章を書いてみます。

「放送大学で学んでみて」という題で、

「なたもだ」技法で書く練習です。



6月7日 第2回 レポート・小論文の技法…引用を交え、2000字程度で書く

「放送大学での学び」を具体的に取り上げてレポートテーマと参考文献を用意する。  
題材は放送授業や面接授業に限りません。

自分が追究したい学習テーマでも結構です。

第3回までに書き上げ、持参する。A4 2ページ以内 字数を守って書く。

6月28日 第3回 参加者の文章の合評会…表現の工夫と推敲の仕方

★ 各回、水曜午後、1時30分から3時30分。第2、3回のカフェは連続して参加してください。

★ 今回は、実習つきの学びカフェです。福島学習センターの20周年にあたり、学生文集を企画していますので、それへの掲載をめざしてご参加ください。

## 卒業研究ガイダンスの開催

7月12日(水) 1時半から3時まで

「卒業研究履修の手引き」および「同(別冊)」を中心に説明します。ガイダンスのあと、希望者には個別相談も行います。あらかじめ、どういう方面の研究テーマを考えているか、などの内容があると相談がはかどります。この日の都合がつかない人でも、事前予約をすれば随時受け付けます。

## 職員異動のお知らせ



新年度を迎え4月1日から福島学習センターに新メンバーが加わります。

事務職員 小川 一樹

よろしくお願ひいたします。

# 公開講演会が開かれました

## 成人学習が心身の健康や家族関係・地域コミュニティに及ぼす効用

放送大学客員准教授・福島大学准教授 木暮 照正先生

日時 平成29年2月12日(日)  
13:30~15:30  
会場 会津稽古堂  
参加者32名

今回も会津学知会の皆様の協力をいただきました。ありがとうございました。



## カタカナ英語をめぐる話

放送大学客員教授・福島大学教授 松浦 浩子先生

日時 平成29年2月18日(土)  
13:30~15:00  
会場 いわき産業創造館 参加者42名



## 男の祭りと女の祭り

放送大学客員教授・郡山女子大学教授 野澤 謙治先生

日時 平成29年2月19日(日) 14:00~15:30  
会場 福島学習センター 参加者52名

民俗学者柳田国男は『妹の力』で次のように書いているそうです。「自分たちの学問で今までに知られていることは、祭祀祈祷の宗教上の行為は、もと肝要なる部分がごとごとく婦人の管轄であった」と。古代の日本でそうであったのが、次第に男性の占有になっていく過程のお話しが詳しく説明され、家父長制の成立の流れの中と武家社会になって次第に変わっていったことがわかりました。

ところが、たとえば羽黒山の女人禁制の修行が受胎から出産への過程の宗教的再現で、命を産み出せない男の女性への嫉妬という解釈はとても驚きでした。また、両性具有の土偶の意味や、二重性・両性具有の神話の日本を含む世界的な分布を示され、現代では祭りが男性のみ維持できない中で、両性で祭りを担う状況を積極的に創り出すことが望まれます、と結ばれました。あとの質問も多くの手が挙がり、とても盛況の講演会になりました。



# 事務室からのお知らせ

## ◆学生証の発行について

福島学習センターでは4月1日14時以降、いわきサテライトスペースでは4月4日から学生証を交付いたします。次の学生の方は、所属する学習センター窓口で手続きを行ってください。

4月に入学(再入学を含む)した学生の方→入学許可書を持参してください。

学生証の有効期限切れ(全科履修生:h29.3月末)の方→古い学生証を持参してください。

郵送による発行を希望する方は①入学許可書又は古い学生証、②身分証明書(顔写真付き)のコピー、③返信用封筒(宛名明記、切手242円分貼付)を同封のうえ、所属学習センターへ送付してください。

## ◆通信指導の提出について

4月から登録した科目及び再提出の方は、5月24日(水)～6月7日(水)大学本部必着で送付してください。通信指導問題は基本的に印刷教材と一緒に発送しますが、5月8日までに届かない場合は大学本部(043-276-5111)に連絡してください。提出期限を過ぎて到着したものは、受理できませんので余裕を持って作成してください。

提出については、一部の科目を除き、郵送によるもののほか、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web通信指導」が利用可能です。詳しくは、キャンパスネットワークホームページをご覧ください。

## ◆各種届・変更願について

### ○住所等変更届

現住所、連絡先の電話番号に変更があったときは、速やかに手続きしてください(システムWAKABAからも変更できます)。現住所の変更は、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。

### ○単位認定試験受験センター変更願

単位認定試験は、原則として所属学習センターにおいて受験することになります。転勤・転居等のやむを得ない事情及び通勤・通学等のため、所属学習センター以外での受験が便利な場合は、受験センターの変更手続きをしてください。郵送での受付は4月1日～5月26日(大学本部必着)、システムWAKABAの場合は4月1日9:00～6月2日24:00です。

## ◆学生用駐車場について

福島学習センターでは、郡山女子大学附属幼稚園西側に駐車場があります。通常は附属幼稚園の関係者が使用する駐車場のため、駐車台数に限度があります。また、駐車場所が指定されていますので利用の際は他の方の迷惑にならないように十分注意して利用してください。駐車場を利用する際には、利用許可証が必要になります。学習センター事務室で駐車場利用許可証交付願に車種とナンバーを記入し申請してください。

郵送で申請する場合は、①学生証又は入学許可書のコピー、②放送大学駐車場利用許可証交付願(利用の手引27ページに様式有)、③返信用封筒(宛名明記、切手貼付)を同封のうえ、福島学習センター宛に送付してください。

# 面接授業 開設科目一覧

## 平成29年度 1 学期福島学習センター開設科目

科目コード	科目区分	科目名	担当講師	備考	実施日	受付期限
2470357 初級110	基盤科目	新・初歩からのパソコン	内海 哲史 福島大学共生システム理工学類・准教授		4月15日(土)	受け付け ません
2470233 中級320	専門科目 心理と教育	心理学実験1	木暮 照正 福島大学地域創造支援センター・准教授		4月16日(日)	
2472473 中級220	導入科目 自然と環境	天体の謎をさぐる	中村 泰久 福島大学名誉教授		4月22日(土)	受け付け ません
2467690 中級320	専門科目 生活と福祉	現代の生活と福祉	鈴木 勲 会津大学短期大学部・専任講師		4月23日(日)	
2472872 中級120	基盤科目 外国語	日常の英語コミュニケーション	ジョン・ティルマント 郡山女子大学・非常勤講師		5月13日(土)	5月6日(土)
2468050 中級320	専門科目 自然と環境	光と分子2	奥山 克彦 日本大学工学部・教授	要保険加入	5月14日(日)	
2473178 中級220	導入科目 人間と文化	日本近・現代詩	澤 正宏 福島大学名誉教授		5月20日(土)	5月13日(土)
2470098 中級320	専門科目 生活と福祉	食品中の放射性物質	武地 誠一 郡山女子大学短期大学部・准教授	要保険加入	5月21日(日)	
2473186 中級320	専門科目 社会と産業	日本建築史にみる建物の見方	長田 城治 郡山女子大学家政学部・講師	要保険加入	5月27日(土) 5月28日(日)	5月20日(土)
2471183 中級320	専門科目 生活と福祉	生活者・環境・科学的視点と生活	武井 玲子 郡山女子大学家政学部・教授	要保険加入	6月3日(土)	5月27日(土)
2473330 中級320	専門科目 人間と文化	日本美術史概論	加藤 奈保子 福島大学人間発達文化学類・准教授		6月4日(日)	
2472953 中級320	専門科目 人間と文化	日独文化交流史	高橋 優 福島大学人間発達文化学類・准教授		6月10日(土) 6月11日(日)	6月3日(土)
2464870 中級320	専門科目 社会と産業	椅子の社会経済学	坂井 素思 放送大学・教授		6月17日(土) 6月18日(日)	6月10日(土)
2472686 中級320	専門科目 社会と産業	働く人の法律知識	長谷川 珠子 福島大学行政政策学類・准教授		6月24日(土) 6月25日(日)	6月17日(土)
2471698 中級320	専門科目 心理と教育	対人コミュニケーション演習	後藤 真 桜の聖母短期大学・准教授		7月1日(土) 7月2日(日)	6月24日(土)
2471302 中級320	専門科目 生活と福祉	精神医学基礎編	石丸 昌彦 放送大学・教授	教科書有	7月8日(土)	7月1日(土)
2466791 中級320	専門科目 情報	基本情報技術者：テクノロジー上	浅井 紀久夫 放送大学・准教授		7月9日(日)	

## 平成29年度 1 学期いわきサテライトスペース開設科目

科目コード	科目区分	科目名	担当講師	実施日	受付期限
2462184 中級320	専門科目 人間と文化	『論語』から学ぶ人生哲学	城山 陽宣 東日本国際大学経済経営学部・専任講師	5月13日(土) 5月14日(日)	5月6日(土)
2466554 中級320	専門科目 社会と産業	観光論	秋葉 明 元東日本国際大学経済経営学部・教授	5月20日(土) 5月21日(日)	5月13日(土)
2465841 中級120	基盤科目 外国語	歌とVOAで広げる英語の世界	柳沢 民雄 東日本国際大学健康福祉学部・教授	6月3日(土) 6月4日(日)	5月27日(土)
2473917 中級320	専門科目 生活と福祉	福祉心理学	宮本 文雄 東日本国際大学健康福祉学部・教授	6月10日(土) 6月11日(日)	6月3日(土)
2469766 中級320	専門科目 心理と教育	障害のある子ども発達と教育	前川 久男 いわき短期大学・教授	6月24日(土) 6月25日(日)	6月17日(土)

# 福島学習センター・いわきサテライトスペース開設科目に係る 面接授業追加科目登録申請について

～まだ空席がある面接授業(スクーリング)について履修者を追加募集しています～

## ●面接授業について

面接授業(スクーリング)は、教室などで教員から直接受ける授業のことをいいます。面接授業は全て、1科目1単位です。全科履修生は、卒業するために面接授業又はオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。選科・科目履修生は必修ではありませんが、自分の学習したい内容にあわせた面接授業を受講することができます。空席のある科目について追加で科目登録ができますのでご案内いたします。

### 教科書・参考書について

教科書は講義の中で使用するものです。必ず各自で購入してください。教科書がないと授業だけでなくレポートの執筆にも影響することがあります。

参考書は必ず購入しなければならないものではありませんが、講義を理解するうえで参考になるものです。学習センター図書室で閲覧できるものもあります。

### 学生教育研究災害傷害保険について

要保険加入の科目は「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄学習センターにて加入してください。

### 開設科目の確認

- ・面接授業開設科目一覧
- ・面接授業時間割表[北海道・東北ブロック]
- ・放送大学ホームページ
- ・システムWAKABA
- ・学習センター掲示

※福島・いわき以外で開設の面接授業については開設する学習センターに問い合わせてください。

## ●申し込み方法

### 空席を確認してください

空席発表 平成29年4月15日(土) 12時

●開設科目の空席状況が発表になります。

学習センター・サテライトスペースの掲示板・ホームページ・電話(024-921-7471)で確認できます。

### 希望する面接授業の事前申請をしてください

事前申請期間 平成29年4月15日(土)～20日(木)

●郵送または直接来所して事前申請をしてください。  
電話・FAX・Eメールによる受付はできません。

	来 所	郵 送
必要なもの	科目追加登録申請書 学生証(学生証持参なら 代理人でも可)	科目追加登録申請書 (学生証写し添付)
申請方法	福島学習センター及び いわきサテライトスペース へ学生証を持参して来所 する	福島学習センターへ封 書の表に「科目追加登録 申請書在中」と朱書きし 郵送

## 事前申請期間

## 追加登録発表

### 追加科目登録者を決定します

●事前申請者に対し、申請の結果(可否)を登録開始日の4月21日(金)、10時30分～12時の間に電話で連絡します。

尚、この時間に連絡がとれなかった人は、15時までに024-921-7471まで電話してください。

### 上記以後、追加科目登録期間が変わります

4月～7月開講の授業：4月21日(金)～科目ごとに定められた追加登録受付  
期限日

### 授業料について

#### ●授業料の支払について

納付は学習センター窓口又は郵送でお願いします。なお、追加科目登録受付期間中、空席が生じている科目については、先着順で受け付けいたしますので、授業料を添えて申し込んでください。

#### ●授業料を郵送する場合

- 【授業料】 ◆現金書留又は郵便為替 5,500円  
【返信用封筒】 ◆宛名明記  
◆82円切手添付  
◆長形3号

## 追加科目登録受付期間

平成29年度（2017年度）第1学期

面接授業（ \_\_\_\_\_ 学習センター  
サテライトスペース 開設科目）科目追加登録申請書

学 生 番 号	_____ - _____ - _____
---------	-----------------------

氏 名	_____	
連 絡 先	〒 _____	電 話： ( _____ ) メール： _____

## 学生証（写）貼付欄

（郵送の場合は、学生証（写）の添付のない申請書は無効です）

- 一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。
- 追加登録申請書は郵送する前に必ず（写）をとり保管しておいてください。

希望	科 目 コ ー ド	ク ラ ス	科 目 名	第1回目の日程
1	_____	_____	_____	_____
2	_____	_____	_____	_____
3	_____	_____	_____	_____
4	_____	_____	_____	_____
5	_____	_____	_____	_____
6	_____	_____	_____	_____
7	_____	_____	_____	_____
8	_____	_____	_____	_____
9	_____	_____	_____	_____
10	_____	_____	_____	_____

備考
----